

里の大地

NO. 6

文責 酒井



エコ作品

26日間の夏休みが終わり、元気に子どもたちが登校し、二学期が始まりました。

夏休み、コミュニティスクールが2日間開かれました。のべ、145人もの子どもたちが参加して、地域講師のご指導の下で充実した活動をすることができました。地域講師のみなさんも子どもたちが一生懸命に取り組んだり、喜んでくれたりすることが張り合いだとおっしゃっていました。ご指導ありがとうございました。また、プールは予定を変更しましたが、猛暑のため3日間だけの開放となりました。細心の注意を払っての行き帰りの引率や、監視のお仕事、暑さの中、本当にありがとうございました。



休み帳などの学習



読み聞かせ



ポスター制作



おやつ作り



プログラミング

休み中にがんばった、作品や研究が展示されたり、ポスターなどは早速に出品するようにしています。二学期は、マラソン大会(9/26)や音楽会(10/19)のほか、学年ごとの行事もあり、早速、5年生は来週8/29~30とキャンプに行くことになっています。夏

休み後半一時涼しい日もありましたが、二学期の始まりには、猛暑となっています。マラソンや外遊びなどを天候にあわせて控えるようにしたり、冷房設備のある部屋を休み時間に開放したり、対応しております。85日間の二学期が子どもたちにとって充実した実りあるものとなるよう職員一同指導にあたります。保護者の皆様のご理解とご支援を何とぞよろしくお願いいたします。

一人一人がめあてをもち、仲間と心をつなげて

～二学期始業式から～

代表の3名の子どもたちから、二学期にがんばりたいことの発表がありました。

1年生の代表者からは、音楽会をがんばりたい。きれいな声で歌いたい。楽器も好きなので、合奏もがんばりたい。もう一つは算数をがんばりたい。計算とかずらすらできるようにしていきたい。

4年生の代表者からは、音楽会をがんばりたい。大きな口を開けて歌いたい。2つめはマラソンをがんばりたい、歩かずに速く走り続けて、去年よりも順位を上げたい。3つめは、算数をがんばりたい。しっかり勉強してテストの点をもっとよくしたい。4つめは社会をがんばりたい。先生の話をよく聞いてやっていきたい。

6年生の代表者からは、音楽会の歌をがんばりたい。好きな曲なので6年生最後の音楽会を一生懸命に歌いたい。2つめはマラソン大会をがんばりたい。10位以内をめざして走って行きたい。3つめは算数をがんばりたい。よくわからなかった時に家でも繰り返し復習してきた。そうすることでできるようになるので二学期もがんばっていききたい。

しっかりと目標を持ち、どうしていききたいかというイメージがあり、どのように取り組

んで行こうという見通しをもってがんばろうとしているところがすばらしいと思います。

全校の子どもたちへの話

みなさんの元気な顔を見ることができて、うれしく思います。みなさんにとっての夏休みはどうでしたか？

今年の夏休みは本当に暑い日が続いて、予定していたプールも3日しかできませんでした。それでもコミュニティースクールの2日間には大勢のみなさんが来て、スタッフの先生方に教えていただいて様々に充実した活動をすることができました。

教えてくださった地域の先生方も、みなさんが喜んでくれることを、張り合いに教えてくださいました。またお家の方々の引率で、大勢のみなさんがプールやコミュニティースクールに参加することができました。今年の夏休みは、とても暑かったので行き帰りにみなさんが具合が悪くならないかすごく気を配ってくださったおかげだと思います。飼育園芸の委員会みなさんは、当番の日に花の水やりをがんばってくれたことで、夏休み前よりもさらに花が成長していきいきと咲き誇ってくれています。ありがとうございました。これからも大事に育てていってください。

今、代表の人たちが2学期のみなさんが、がんばりたいことを発表してくれました。全校の皆さんも一人一人がしっかりとこの2学期にがんばりたいことをもって2学期をスタートしてくれることと思います。これから目標が決めようとしている人は、1学期のことを思い返しなが、12月までにどんな自分になっていこうか考えていきましょう。

この2学期は、85日間あります。この2学期には、5年生のキャンプ、マラソン大会、音楽会、各学年の社会見学や6年生の修学旅行などが予定されています。それぞれの活動がみなさん自身のものになっていくことがとても大事だと思います。

この夏休みにあった甲子園という場所で行われた100回目の全国高校野球選手権大会があり56校の代表のみなさんが連日、熱い試合を繰り広げていました。長野県の代表佐久長聖高校野球部のみなさんも、1回戦で旭川大学高校に14回の延長戦を戦い、5対4で勝ちました。岩村田の小学校に勤めていた頃、小学生だった子がピッチャーとキャッチャーとして活躍していました。知っている人たちが活躍してくれるととても嬉しく思いました。

また、最近ではなかなか甲子園の全国の舞台にも出場することが難しい公立高校の野球部の選手が今年の夏の大会で大活躍しました。その中でも一番注目を浴びたのは『金足農業高校』の選手のみなさんです。みなさんも一度は見たり聞いたりしたのではないのでしょうか。昨日、決勝戦で優勝こそできませんでしたが全国で2位の準優勝を成し遂げました。

今は、生まれた地元を離れて甲子園という大きな舞台で活躍しようといろいろな県から選手が集まってチームを作っている学校が多くあります。甲子園に出てくるチームのほとんどが、全国から集まってつくっているチームなのだそうです。そうした中でも金足農業高校の選手たちは、公立高校ですから、選手全員が秋田県出身です。そうした学校が、全国に大会に出場し、しかも小学生の頃から全国大会で活躍していた選手が集まったチームに次々と勝っていったので一層話題になったのだと思います。150km/hの凄い速い球を投げるピッチャーがいて、決勝戦まで一人で投げ抜いてきました。でも一人の力ではここまではこれなかったと思います。支えてくれる仲間がいて、みんなで取り組んできたからこそできた準優勝だったと思います。

一方、優勝した大阪桐蔭高校のチームも昨年の夏、優勝候補と言われながら、仙台育英高校との3回戦であとアウト1つで勝つというときに、1塁守の2年生がベースを踏むのがうまくいかず、セーフにしてしまい、その次の打者にサヨナラヒットを打たれて負けてしまうことがあったそうです。でも、3年の先輩たちに励まされ、同じ2年生全員の仲間からキャプテンになってほしいと認められて、1年間やってきたそうです。そして優勝したとき、一番涙を流していたのは、そのキャプテンでした。

野球はチームスポーツです。チームのみんなが一丸となって、がんばらないと勝ち進んでいくことはできません。厳しい練習も、仲間と目標に向かって励まし合いなが

ら取り組んで来ているのだと思います。

2学期を終える時に、こんなことががんばれたなあと思えるようにするために、みなさん一人一人が、こうあったらいいなあ、こんなふうになりたいという期待や願いをもち、何をどのようにやっていくかということを考えていくことが大切だと思います。『一人一人がめあてをもって』やっていきましょう。またクラスや学年のみんなががんばっていこうとすることなど『仲間と心をつなげて』協力し合ってみてください。そして『みんなが笑顔になる』85日間のすばらしい2学期になることを期待しています。

このあと、各クラスでは、2学期にがんばりたいことについて、各自が考えたり、クラスや学年でがんばりたいことについても話し合ったりしました。

こんな研修をしています

<非違行為防止研修について>



毎月ある職員会議では、非違行為を絶対に起こさないために、毎回職員研修を行っています。県下でも様々なことが報道され、私たち職員もそうした事例に学びながら、気持ちを新たにしたり、セルフチェックシートを使って自己診断したりして、自分の意識の中にある見直すべき点を考える場を設けてきています。また、自分たちで考えた標語を、印刷の場所や職員室内の目につきやすい場所に掲示して、非違行為を起こさないこと

意識化を図っています。

非違行為に至ってしまう背景には、ストレスや苦しさを乗り越えていく、より良い方法をしっかりととれていなかったことがよくあげられています。そこで、夏休み中の職員会議で、グループ討議を行い、『苦しかった時をどう乗り越えてきたか』を中心に今までの教職生活の中でその体験談を語り合いました。

その多くが、先輩の先生方など同僚に苦しい状態を察していただき、声をかけてもらったことで、悩みを解決することに繋がったり、より良い改善策を一緒に考えていただいたりしていたということでした。一人ではなかなかよい方向が見いだせず悩んでいたが、自分から話していくことはできなかったという人も多くいました。



同じ職場に働く仲間として、苦しんだり、悩んだり、困っていたりすることをしっかりと見て、声を掛け合うことの大事さを再認識することができました。学校のチーム力をこうした研修によって一層あげていきたいと思っています。

<Q-U研修について>

年間に3回Q-Uを実施しています。子どもたちに、学級満足度と学校生活意欲をアンケートで取って調べていくものです。

学級満足尺度は、承認と被侵害というものを調べる質問があります。承認得点は自分が級友から受け入れられ、考え方や感情が大切にされていると感じているかどうか。被侵害得点はトラブルやいじめなどの不安がなく、リラックスできているかどうか。

学校生活意欲尺度は、学校生活に対する意欲の高さと、領域による偏りを理解するためのものです。

一人一人のアンケート結果をデータ入力してグラフ化されたもので分析します。職員も研修を積み重ね、その分析を今までに何度かしてグラフの見方はずいぶんできるようになってきました。今回は、日頃の自分がとらえていた子どもたちの意識と、グラフで現れる子どもたちの意識のずれを見つめて、二学期のスタートにあたり、子どもたちにどのように関わっていくかを決めだしていく研修をしました。学年ごとにかかわりのある先生方で小グループを組み、特に、4月と7月の結果を比べながら、学校生活の中でどのように過ごしてきたか、また友だち関係はどうだったかなどを見返して、どのようなかかわりを大事にしていけば良さそうかを話し合いました。話を聞く場を設ける。できるだけ個別に声をかける。グループの活動で位置づけて活躍する場を設ける。といった具体的な支援のあり方が話し合われ、二学期のスタートにあたり、一人一人の子どもたちを見つめていくよい機会となりました。

一人一人の子どもたちを大人の主観で見てしまうのではなく、客観的な Q-U のような検査も大事にしながら、年間3回実施して、その変化を大事に捉えて子どもへの指導支援に生かしていくことは、子どもたちへ関わる私たち教職員のあり方として大切なことと思っています。三つの季節をまたがる二学期、保護者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

1 子どもの健全育成を進める会について

今週の8月25日（土）には屋代中学校区健全育成を進める会が東小学校で開催されます。明日も夕方より前日準備を職員で行い、役員の皆様には18：30～当日の打合せを行います。よろしくお願いいたします。

また PTA 役員の皆様25日（土）は8：45に各活動場所に集合して仕事の確認を行います。お世話になります。

2 PTA 作業について

9月9日（日）は第2回 PTA 作業となります。今回は、森・倉科地区の保護者のみなさんと森・倉科の6年児童で行います。ただし、1回目に欠席された方も今回対象ですのでよろしくお願いいたします。午前7時から実施する予定です。体育館南側の芝の所に集合してください。

作業内容は、草刈りとその片付けとなります。よろしくお願いいたします。

小雨決行ですが、延期となる場合は、PTA メールでお知らせいたします。